

# 奈良県債 IR資料



大極殿院(平城宮跡)

市場公募地方債発行団体合同IR説明会(H22年10月25日)



# 奈良県の特徴

## ①優れた交通アクセス



## ②近接する巨大市場



## ③豊かな生活基盤



## ④進む基盤整備



## ⑤豊富な歴史・観光資源



## ⑥広がる海外との交流



奈良県

①優れた交通アクセス



○大阪中心部まで約40分

※主要駅までの所要時間

JR大阪駅	約44分
近鉄難波駅	約38分
JR天王寺駅	約30分

2009年3月に 阪神なんば線 が開通し、神戸～奈良間 が直結に。

(所要時間 約1時間20分)

[その他主要都市からの所要時間]

○東京から  
東京－京都(新幹線)－近鉄奈良  
(約3時間)

○福岡から  
福岡－京都(新幹線)－近鉄奈良  
(約3時間20分)

○関西国際空港から  
関空－南海難波－近鉄奈良  
(約1時間20分)

○中部国際空港から  
セントレア－JR名古屋－JR京都－近鉄奈良  
(約2時間)



奈良県



②近接する巨大市場と③豊かな生活基盤

項目	指標	全国順位
人口(H21)	140万人	29位
1人当たり県民所得(H19)	268万円	28位
県内総生産(H19)	3.7兆円	35位

本県は  
全国中位  
の規模

奈良県の経済規模は、名目3.7兆円  
↓  
大阪府下で働く奈良県在住者の生産額を加えた  
実質的な経済規模は 5.1兆円

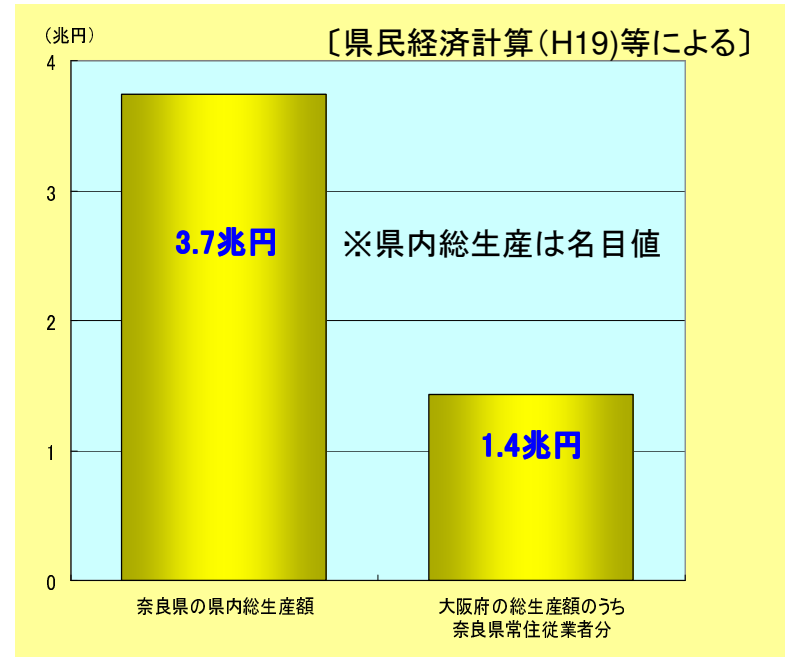
●奈良県に住み大阪府下で働いている方は、約16万人  
県外就業率 29.3% (H17国調) ← 全国一高い

➡ 個人県民税のウエイトが高く  
法人関係税のウエイトが低い

- 県民の高い購買力
- ・1世帯あたり貯蓄現在高(19,091千円) 全国第4位
  - ・1世帯あたり1ヶ月平均家計支出額(2人以上の世帯)  
(338千円) 全国第3位
- 全国平均を上回る進学率・持家率
- ・大学・短大への進学率は全国平均を上回る水準(57.5%)  
全国第8位
  - ・住宅の持家率は7割以上で、全国平均を上回る水準  
全国第12位



奈良県



奈良県では、“奈良で暮らし 奈良で働く”  
を目指します。

- 企業立地と県内企業の活性化に積極的に取り組んでいます。
- 経済活性化による税収基盤の強化に取り組んでいます。

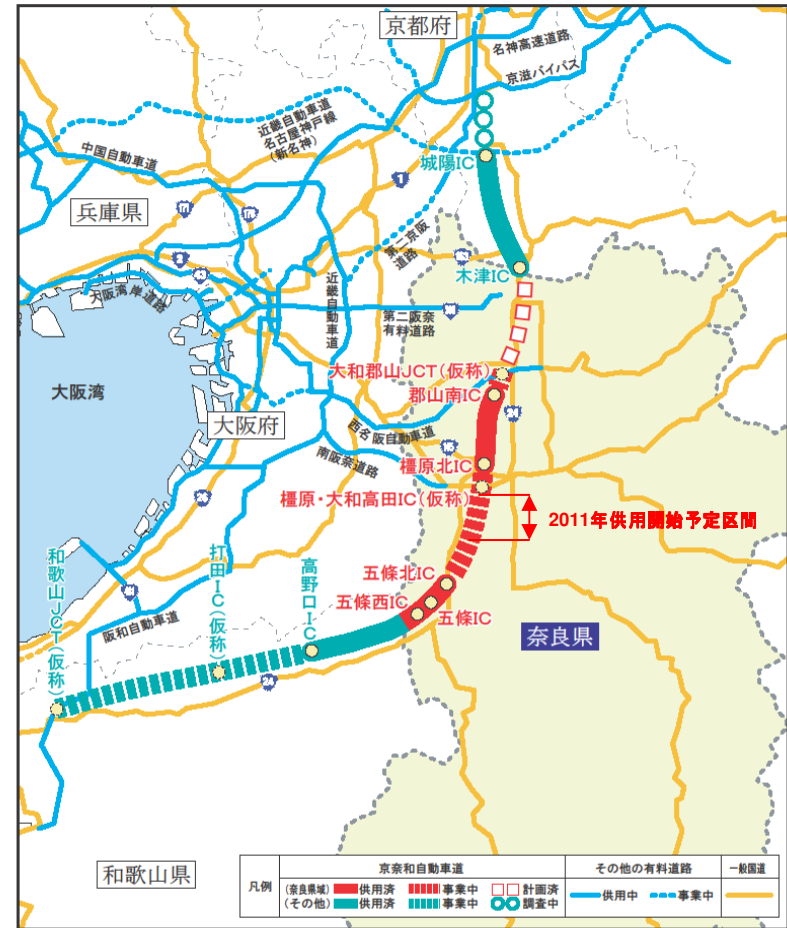
“くらしの向上”を目指します。

- 医療提供体制の充実
- 福祉サービス(人材・施設・在宅ケアなど)の充実など
- 学校における学習意欲、体力、規範意識等の向上など  
教育力の向上
- 安心・安全なまちづくり
- 循環型社会の構築

④進む基盤整備

- 京奈和自動車道の部分開通（2006年）  
 橿原・明日香への観光アクセスが向上
- JR奈良駅付近連続立体交差（関西線）の完成（2008年）
- 関西学術研究都市・高山第1工区の規制緩和（2009年）  
 研究開発型産業施設の立地が可能に。

○京奈和自動車道（仮称）橿原南・御所IC以北の2011年開通に合わせ、IC活用のまちづくりを推進



奈良県



基盤整備に伴い、企業立地・観光振興が進展



産業・雇用振興プロジェクト

## ⑤豊富な歴史・観光資源

### ○県内に3つの世界遺産(全国で奈良だけ)

法隆寺地域の仏教建造物・古都奈良の文化財・紀伊山地の霊場と参詣道

### ○「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の

世界遺産暫定リストへの記載

○国宝・重要文化財件数(人口10万人あたり) 全国第1位

○史跡・名勝・天然記念物(人口10万人あたり) 全国第2位

○ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン2009

★★★

### ◆新たな観光資源

○女帝斉明天皇が被葬者である可能性が高い牽牛子塚古墳

○「卑弥呼の墓」説もある箸墓古墳

### ◆県内寺院で展開される主な大型プロジェクト

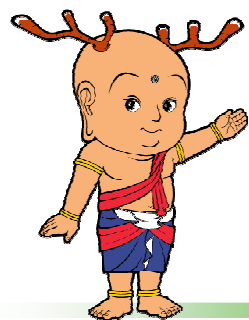
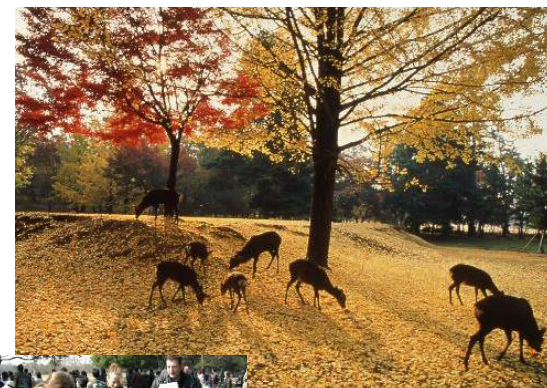
○阿修羅像を展示する興福寺 国宝館がリニューアルオープン(H22.3.1)

○興福寺中金堂の再建開始(H22.10立柱式)

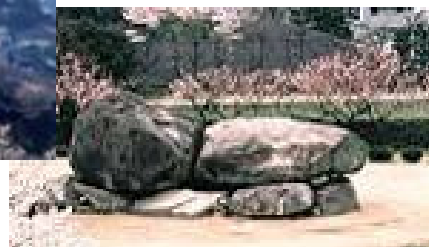
○東大寺東塔(高さ約100m)の再建を打ち出し(H22.4)

○薬師寺東塔の解体修理開始(H22.10)

○東大寺総合文化センターの開館(H23予定)



奈良県



“奈良を訪れ 奈良を楽しむ”を目指します。

- 平城宮跡～奈良公園エリアの魅力向上
  - 観光サービスのグレードアップ
  - 観光情報の発信、外国人観光客の誘客
  - ホテル誘致
- に取り組んでいます。

## トピックス

## ◆平城遷都1300年祭の開催効果(H22.8中間まとめ等より)

○平城遷都1300年祭来場者数 約930万人(6月30日現在)

- ・平城宮跡 約147万人 (予測値の約2.3倍)
- ・県内各地 約780万人 (予測値の約1.5倍)

※9月28日に平城宮跡会場の目標来場者数250万人を突破。

○波及効果

【宿泊者数】(推計値、前年同期(1~6月)比)

- ・県内宿泊者数は約35%増(約142万人)
- ・修学旅行による宿泊者数は約78%増(約10万5千人) など

【来場者消費額(来場者アンケートによる)】(4~6月)

- ・平城宮跡 約116億円
- ・県内各地 約422億円

【メディア露出、せんとくん効果】

- ・メディア露出の広告換算額 約193億円
- ・「せんとくん」等ライセンス商品 約1,500種類 など



## ◆リニア中央新幹線の駅が奈良市付近に

○JR東海がH21年12月に国土交通省へ提出した計画書で、奈良市付近に駅を設置するとしている。

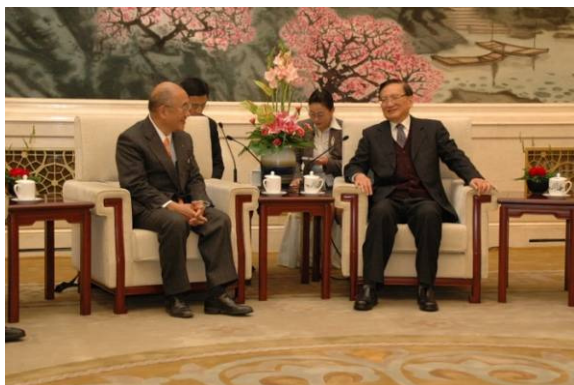
奈良県

奈良の未来へ加速する

**リニア中央新幹線**  
THE LINER CHUO EXPRESS PROJECT



## ⑥ 広がる海外との交流



- 訪日外国人訪問率(JNTO調査) **全国第10位**
- 奈良市は国際会議観光都市 (国土交通省認定)  
(関西では、大阪市、京都市、神戸市、姫路市、奈良市の5都市のみ)
- 積極的な海外へのセールス
  - ・上海国際博覧会「奈良Week in 上海」(7月23日～29日)
  - ・中国陝西省との友好交流(11月23日～25日) 知事一行の訪問
  - ・中国・韓国・台湾での観光等プロモーション活動
  - ・「2010キャセイパシフィック・インターナショナル・チャイニーズ・ニューイヤー・ナイトパレード」へのせんとくん参加(2月14・15日)
- 様々な国際会議の開催
  - ・平城遷都1300年祭の中核として、「平城遷都1300年記念祝典」
  - ・「東アジア未来会議 奈良2010」として、  
APEC観光大臣会合(2010年9月)  
東アジア地方政府会合(2010年10月) など
- 伊フィアット社と文化・経済交流促進協定を締結(2010年)  
「FIAT CAFFE in NARA」を期間限定で開催。



平城遷都1300年祭  
マスコットキャラクター  
「せんとくん」

奈良県

### “海外との交流”をさらに進めます

- 外国人観光客に向けた新たな周遊ルートの創出
- おもてなし環境の向上
- 拡大する中国市場への効果的なプロモーション



# 奈良の未来を創る 5つの構想案

## 将来に向けた新たな芽を出すような取組を推進

- ポスト1300年祭構想
- ポストベットタウン奈良構想
- 健やかに生きる構想
- 奈良に暮らす構想
- 南部を元気にする構想

### ○具体的な取組

- ・プレミアム商品券の発行
- ・「なら瑠璃絵」の開催
- ・「Cu-Cal in 奈良」の継続開催
- ・県内飲食施設の充実(クイーンアリス・天平青柳)
- ・奈良大和路 秘宝・秘仏特別開帳

など



奈良県



クイーンアリス



天平青柳



プレミアム商品券



なら瑠璃絵

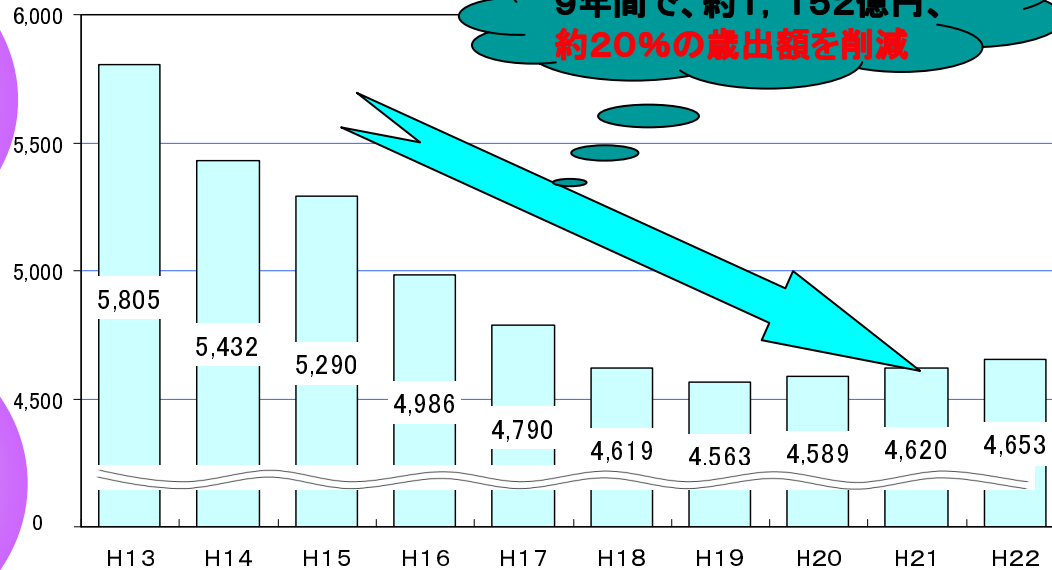


Cu-Cal in 奈良

# ① 行財政改革の取り組み

## これまでの行財政改革の取り組み

当初予算総額の推移



9年間で、約1,152億円、  
約20%の歳出額を削減

### 歳出の削減

9年で約1,152億円の歳出(一般会計)を削減  
(13)5,805億円  
↓  
(22)4,653億円

### 歳入の確保

未利用県有地の売却(15~)  
法定外税の導入(16,18)  
徴収体制の強化

### 職員数の削減

11年で739人(14.5%)削減  
(10)5,081人→(21)4,342人  
定員削減計画の推進

### 給与の抑制・適正化

県独自の給与抑制措置  
(△1.5~10%削減(15~))  
給与構造の見直し(18)等

### 組織の見直し

福祉事務所の統合再編(18)  
会計局の設置(19)  
各部局に企画管理室を設置(20)  
南和労働会館を廃止(22)

### 業務の効率化

自動車税窓口業務の委託(19)  
総務事務システムの導入(19)  
警察学校給食業務の委託(20)  
職員研修の一部委託(20)

### 公の施設の見直し

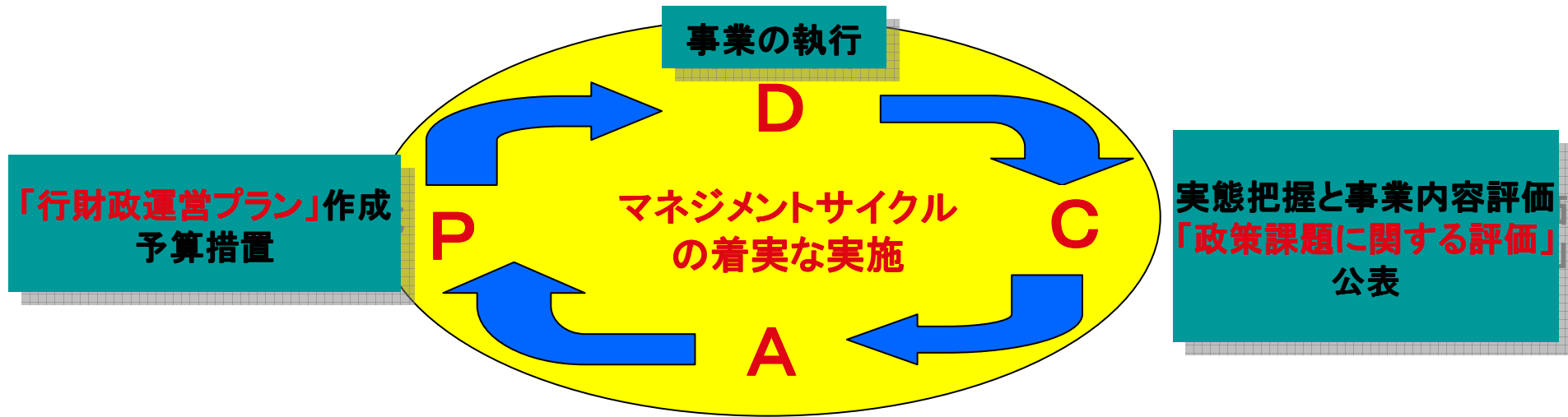
指定管理者制度の導入(18~)  
10施設の民間移管  
県立医大の独法化(19)

### 公社・事業団の見直し

文化事業団の解散(19)  
奈良コンベンションビューローと  
観光連盟の再編(20)  
広域地場産業振興  
センターの解散(21)  
吉野熊野観光開発の解散(22)

## H23~の新たな行革計画策定中

# ① 行財政改革の取り組み



## 効果検証等踏まえ予算編成の「基本方針」作成

### スリムで行動力のある執行体制の整備

- 組織の見直し、職員定数削減  
H21～23で知事部局等の職員△180人 など
- 公社・事業団の見直し
- 部局横断のプロジェクトによる施策推進

### 業務の効率化

- 事務の集中化 総務事務システム稼働、用品センター設置 など
- 民間委託の推進

### 資産の有効活用

- 出先機関の再配置
- 低・未利用資産の売却・貸付
- 公の施設の見直し 新公会堂とシルクロード交流館の一体活用など

### 多様な主体との連携・協働の推進

- 県・市町村が協働して地域課題に対応  
税の徴収強化 など
- 民間の資金やノウハウの活用  
定期借地権設定による養徳学舎の整備 など

### わかりやすい情報発信

県民だよりの充実、ホームページのリニューアル など

## I 平成22年度の行財政運営の基本方針

持続可能な財政運営を維持しつつ、直面する県政諸課題に積極果敢に取り組みます。特に今年は、平城遷都1300年となる重要な年であり、この機会を最大限活用するとともに、これを一過性のものとせず、将来の県勢発展に確実につなげていくよう取組を進めます。

[県の取組の5つのポイント]

### ○県の考えや方針をわかりやすくタイムリーにお示しします。（発信力）

- ・県の考えや方針をタイムリーにお示しし、県民の皆様幅広くご理解いただくと同時に、寄せられたご意見を施策に反映させます。

### ○知恵を絞り効果のあるオリジナルな施策を実行します。（創造力）

- ・県庁職員各々が知恵を絞り、県民ニーズを踏まえた効果のあるオリジナルな施策の実現に努めます。その際には、国等の予算や制度の積極的な活用を図ります。

### ○県民は上司との意識のもと、県庁自らが積極的に行動します。（県庁力）

- ・奈良県のため、地域のため、県庁が率先垂範して心を込めて行動します。

### ○協働と連携に努めます。（連携力）

- ・市町村、企業・NPO、地域で活動されている方々等とのさらなる協働・連携に努め、効果的に施策を進めます。

### ○PDCAのマネジメントサイクルを着実に実行します（継続力）

- ・各種指標による現状分析やニーズの把握に努め、施策・事業を評価し、これらを次年度に活かす行財政運営のマネジメントサイクルの取組を着実に進め、県政の質を向上させます。

## II 県政が目指す方向性

実現すべき課題

- ・「県外で働き、県外で消費する」から「奈良で暮らし、奈良で働く」へ転換
- ・県民のだれもが、「奈良はよくなった」「安心して心地よいところ」と実感
- ・来訪者が、何度でも訪れたいと感じる魅力的な奈良の創造

目指す姿

### 地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る

#### 経済活性化

活力ある産業づくり  
観光の振興  
県内消費の拡大と雇用対策  
農林業の振興

#### くらしの向上

健康長寿の奈良県づくり  
(健康づくり、医療の充実、福祉の充実)  
教育の充実  
安全・安心の確保  
くらしやすいまちづくり

効率的・効果的な基盤整備

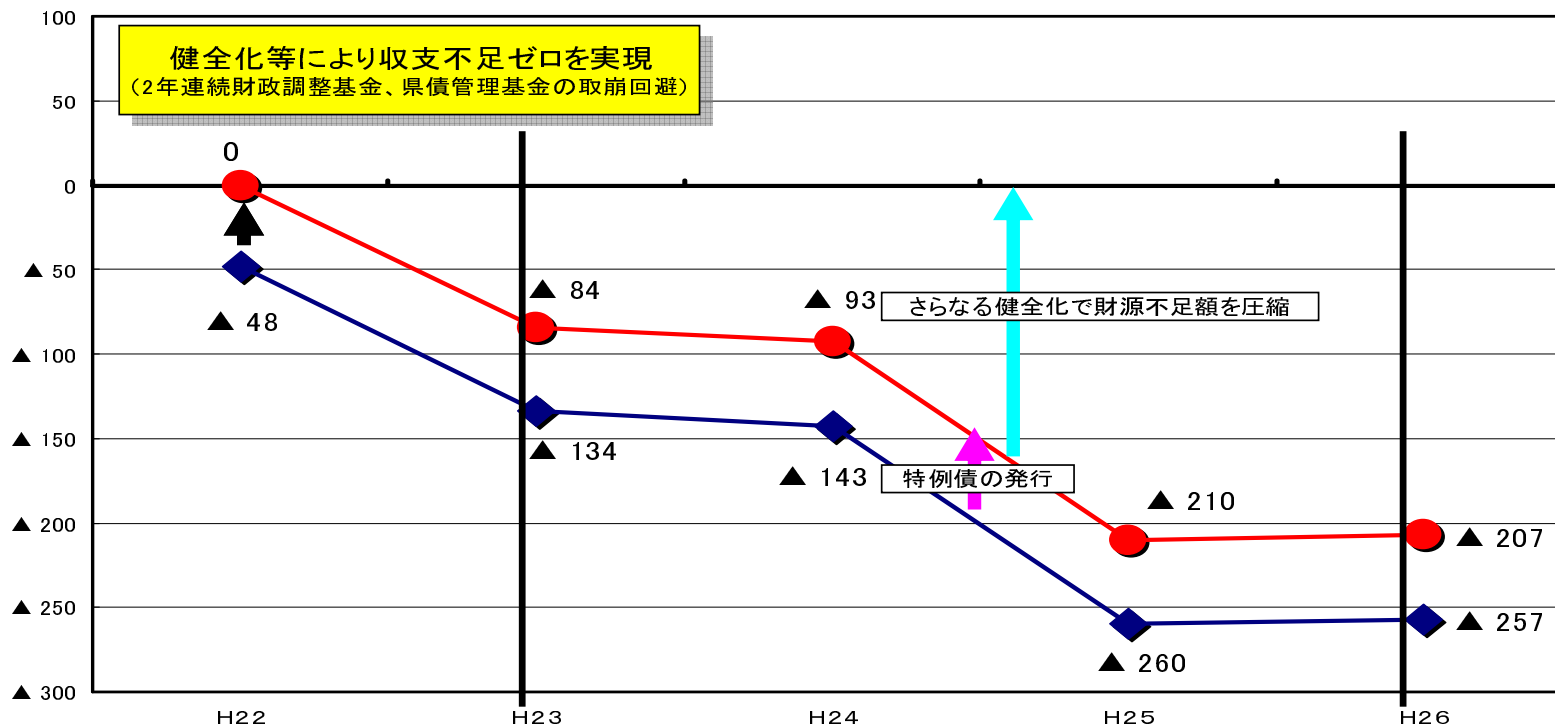
協働の推進及び市町村の支援

行政運営の効率化と財政の健全化

### ③将来見通し

## 健全化措置を講じない場合財源不足額は拡大

収支(億円)



- 徹底した財政健全化の結果、H21・22は収支均衡を達成。財調・減債基金の取り崩しゼロ
- 引き続き持続可能な財政運営のため、財政健全化の取組を強化・徹底

# ①決算額の概況

普通会計決算額		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H21-20
歳入決算額 (億円)		4,614	4,550	4,592	5,007	415
	県税	1,236	1,472	1,391	1,242	▲ 149
	地方交付税	1,432	1,418	1,411	1,315	▲ 96
	臨時財政対策債	207	187	228	461	233
	行政改革推進債	0	0	0	0	0
	県債 (臨時債、行革繰除)	529	436	344	370	26
歳出決算額 (億円)		4,547	4,435	4,503	4,936	433
	義務的経費	2,561	2,514	2,551	2,493	▲ 58
	投資的経費	887	809	740	803	63
実質収支 (億円)		8	8	9	23	14
経常収支比率 (%)		92.6	95.1	96.4	95.6	▲ 0.8
健全化 判断比率 (%)	実質赤字比率	-	-	-	-	-
	連結実質赤字比率	-	-	-	-	-
	実質公債費比率		12.8	11.8	11.7	▲ 0.1
	将来負担比率		247.1	252.2	237.1	▲ 15.1

行革は強かに推進しているが起債発行せず

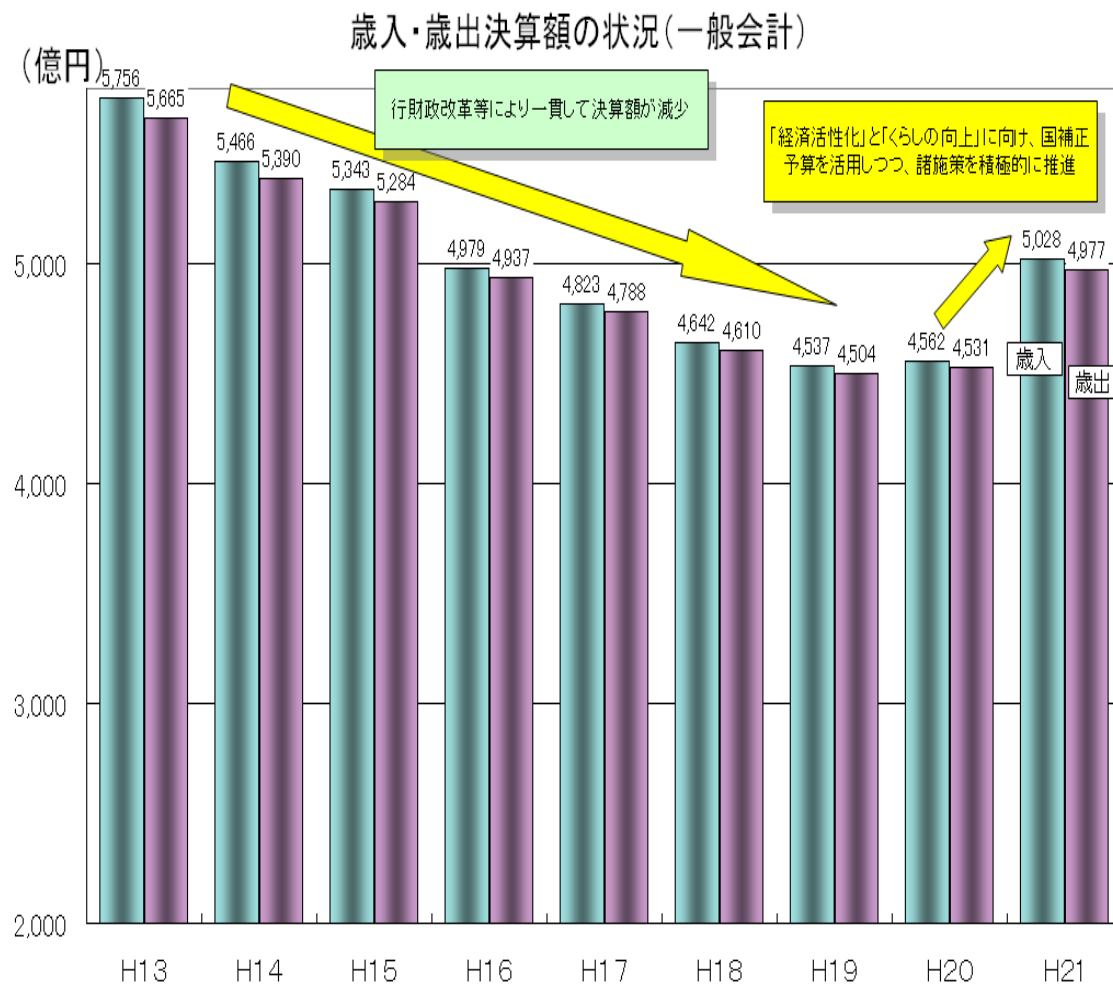
県民1人当たり 決算額	H20年度 決算値	順位	
		近畿2府 4県	全国
歳入総額 (千円)	325	4位	38位
県債発行額 (千円)	42	5位	39位
歳出総額 (千円)	318	5位	39位
人件費 (千円)	116	4位	36位
公債費 (千円)	56	2位	29位
投資的経費 (千円)	52	3位	34位
地方債残高 (千円)	726	2位	24位
積立金残高 (千円)	66	1位	11位

※多い方からの順位

財政指標	H20年度 決算値	順位	
		近畿2府 4県	全国
経常収支比率 (%)	96.4	3位	27位
実質公債費比率 (%)	11.8	3位	12位
将来負担比率 (%)	252.2	3位	30位

※小さい方からの順位

## ②決算額の状況

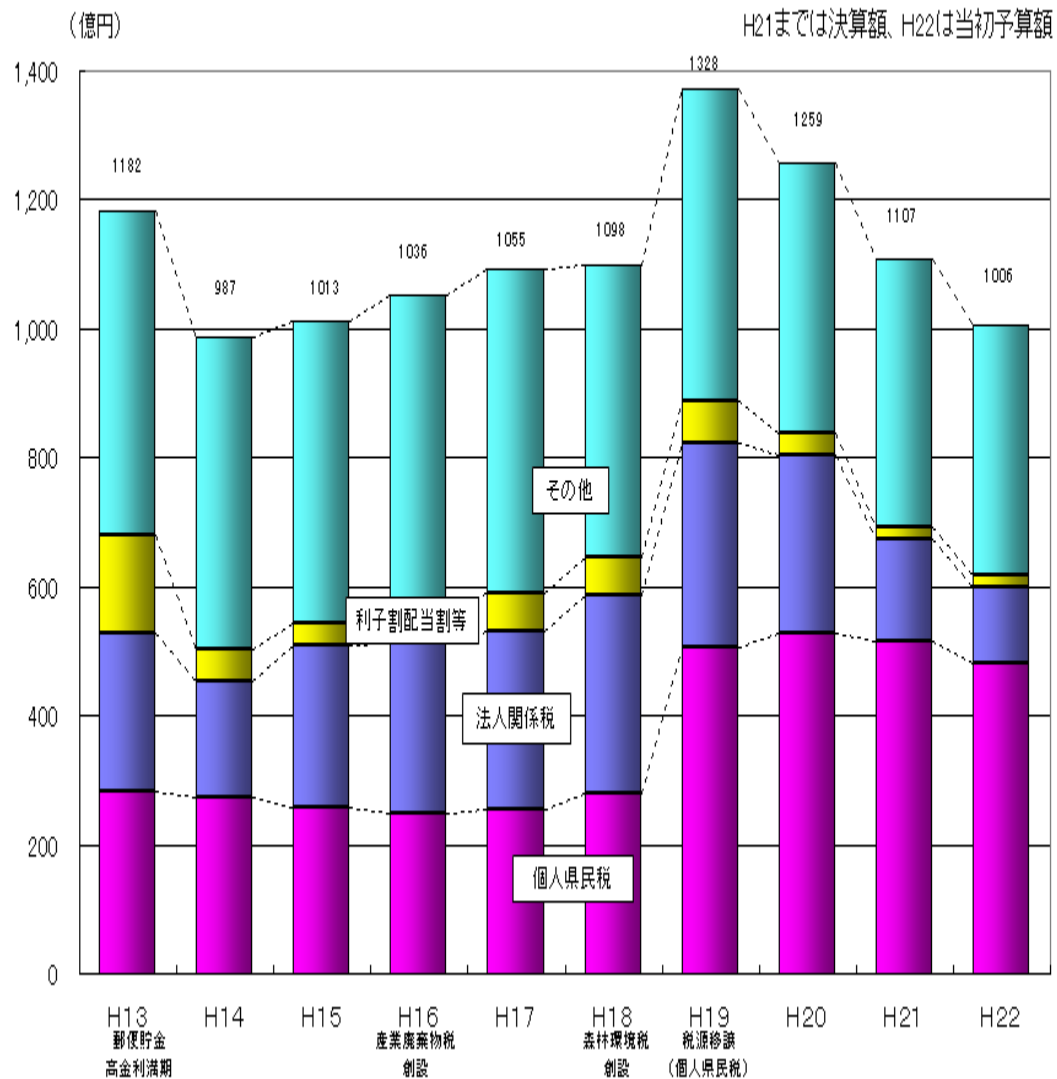


H21年度は、「経済活性化」と「くらしの向上」に向け、国補正予算を活用しつつ、諸施策を積極的に推進したことにより、歳入歳出とも大幅に増加。地方交付税の振替である臨時財政対策債などの増加により、収支は前年度に比べ大幅に増加。



### ③ 県税の状況

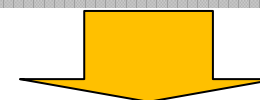
#### 県税の推移



最も割合の高い個人住民税は堅調。法人関係税も地方法人特別譲与税を加味すると、厳しい経済状況の中、大幅な減収は回避。

(単位:百万円)

	H20	H21	H22
法人県民税	4,685	3,282	2,930
法人事業税	22,807	12,382	9,056
地方法人特別譲与税		6,102	12,322
計	27,492	21,766	24,308



#### 行財政運営プラン2010

#### 更なる未収金対策の強化

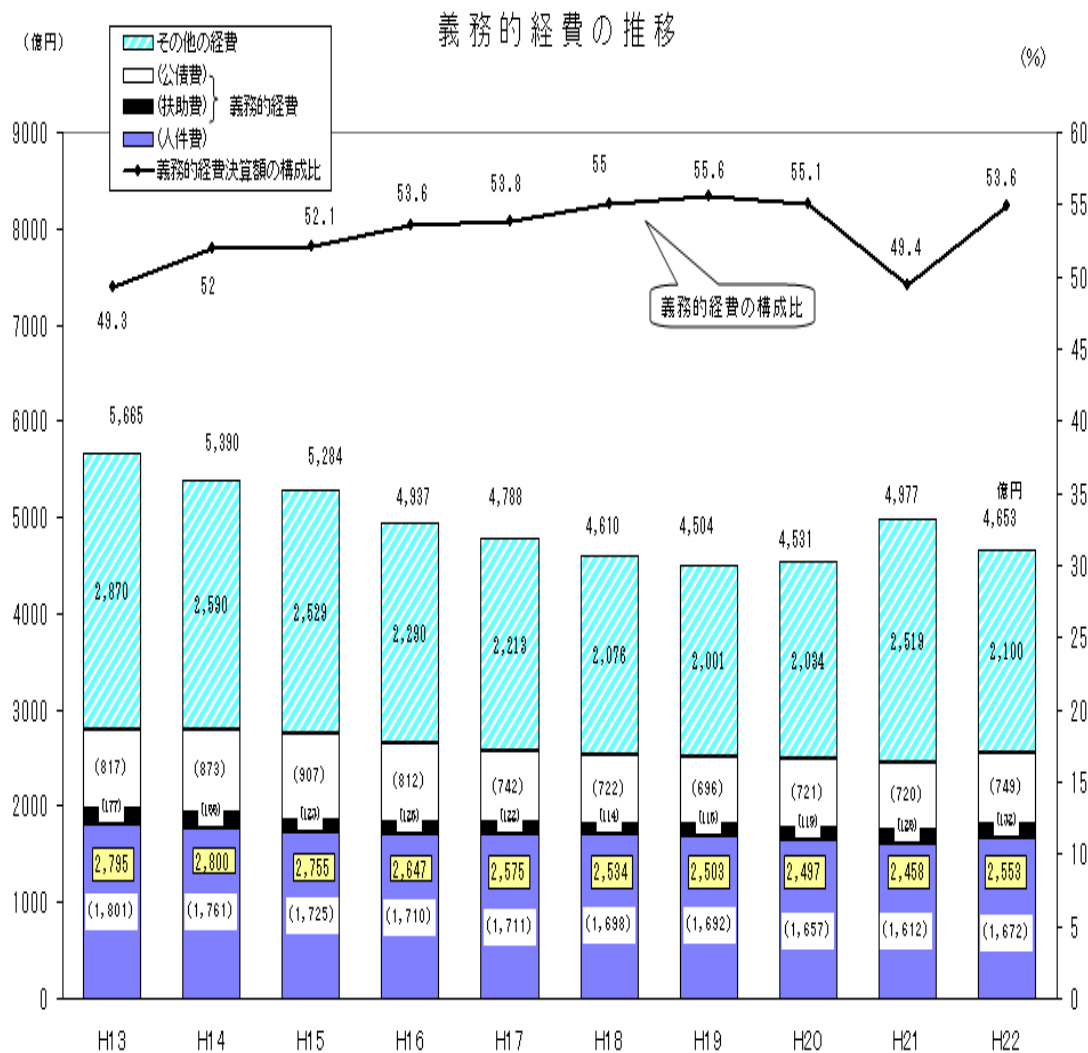
##### 県税の徴収強化

(市町村税・県税の一斉滞納整理強化期間の実施等)

##### 民間の債権回収業者等への回収事務の委託

(県立病院診療収入等、県営住宅使用料、高校奨学金等)

## ④義務的経費の状況



※ H21までは決算額、H22は当初予算額。

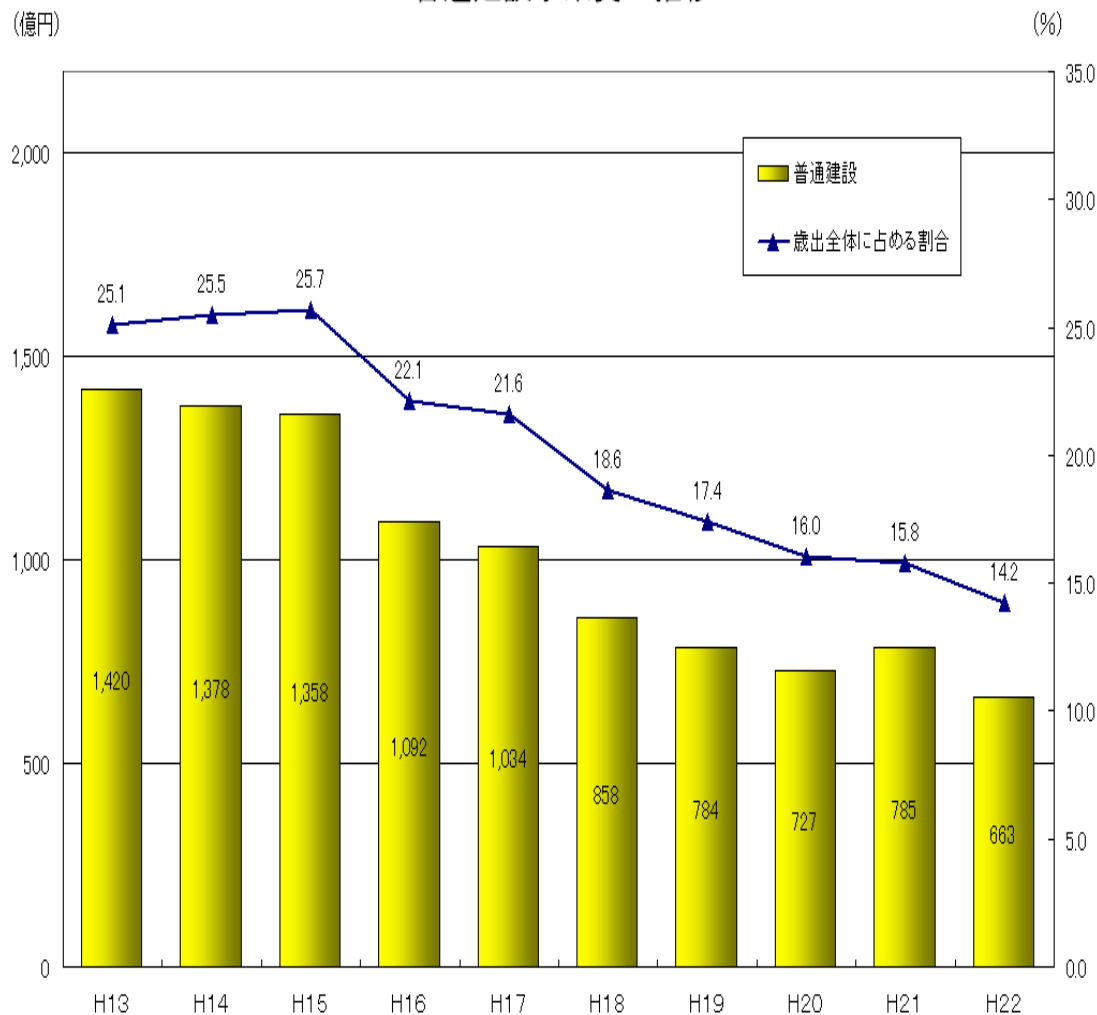
退職手当は増加傾向にあるものの、定数削減、給与カットなどの継続実施により義務的経費の増加を抑制

### 行財政運営プラン2010

- ・定数削減計画 △180人(H21~H23)の実行【H22 △76人】
- ・自主的な給与抑制措置の継続  
給与抑制率 知事 △10%、部長・部次長級 △4%  
課長級 △3%、主幹級以下 △1.5%など

## ⑤普通建設事業の状況

普通建設事業費の推移



※ H21は決算額、H22は当初予算額

H11年度(1,712億円)以降、H22年度で、約1,000億円の削減(約60%削減)

### 行財政運営プラン2010

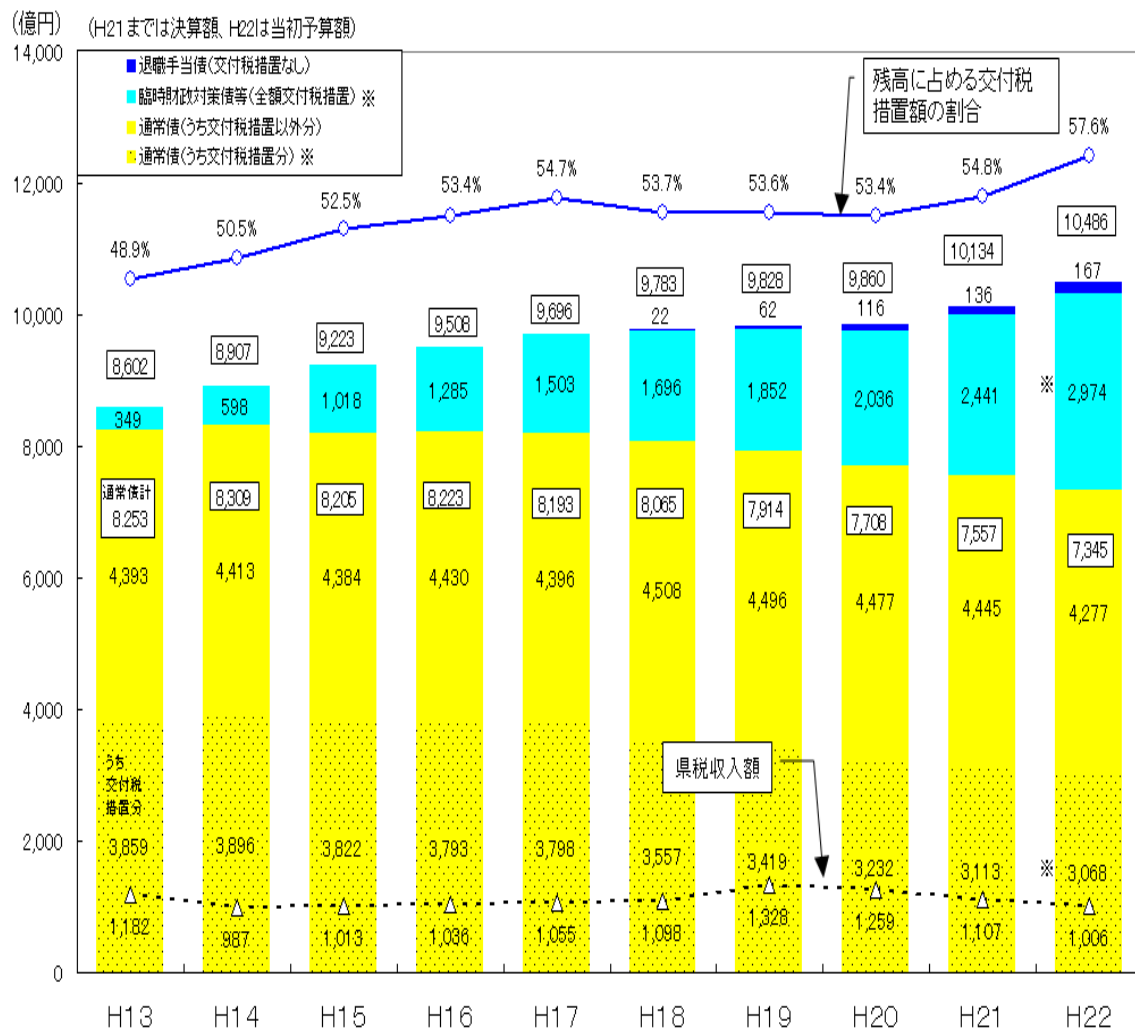
引き続き、選択と集中を徹底。  
H20.12  
「奈良の今後5カ年の道づくり重点戦略」

既存施設の長寿命化の推進など  
コスト削減にも取り組みます。

H22.2  
「奈良県橋梁長寿命化修繕計画」

## ⑥ 県債残高の状況

### 県債残高の推移



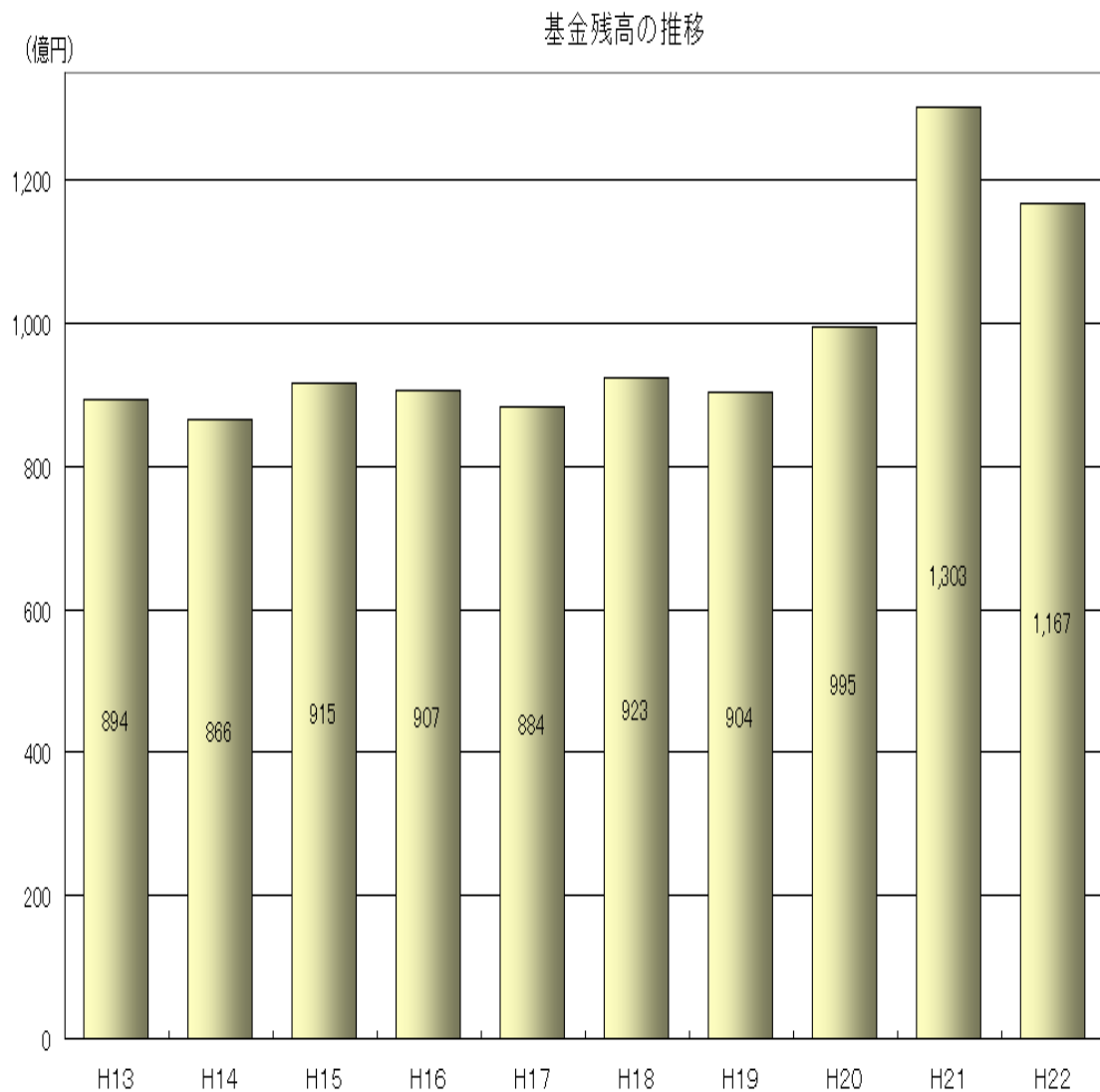
・表示単位未満で四捨五入しているため、数値の計と合計が一致しない場合がある。

普通建設事業の抑制に伴い、通常の県債残高については、6年連続減少見込み。

### 行財政運営プラン2010

- ・通常債の残高抑制に引き続き取り組むとともに、発行にあたっては、財源的に有利な県債を活用。
- ・残高に占める交付税措置率は、H22年度末で57.6%。残高の6割近くは、国により償還金が措置される見込み

## ⑦基金残高の状況



極力、基金に依存しない財政運営を実施。  
残高は、H22末で1200億円程度。  
H21から市場公募債に係る積立ても確実に実施。

### 行財政運営プラン2010

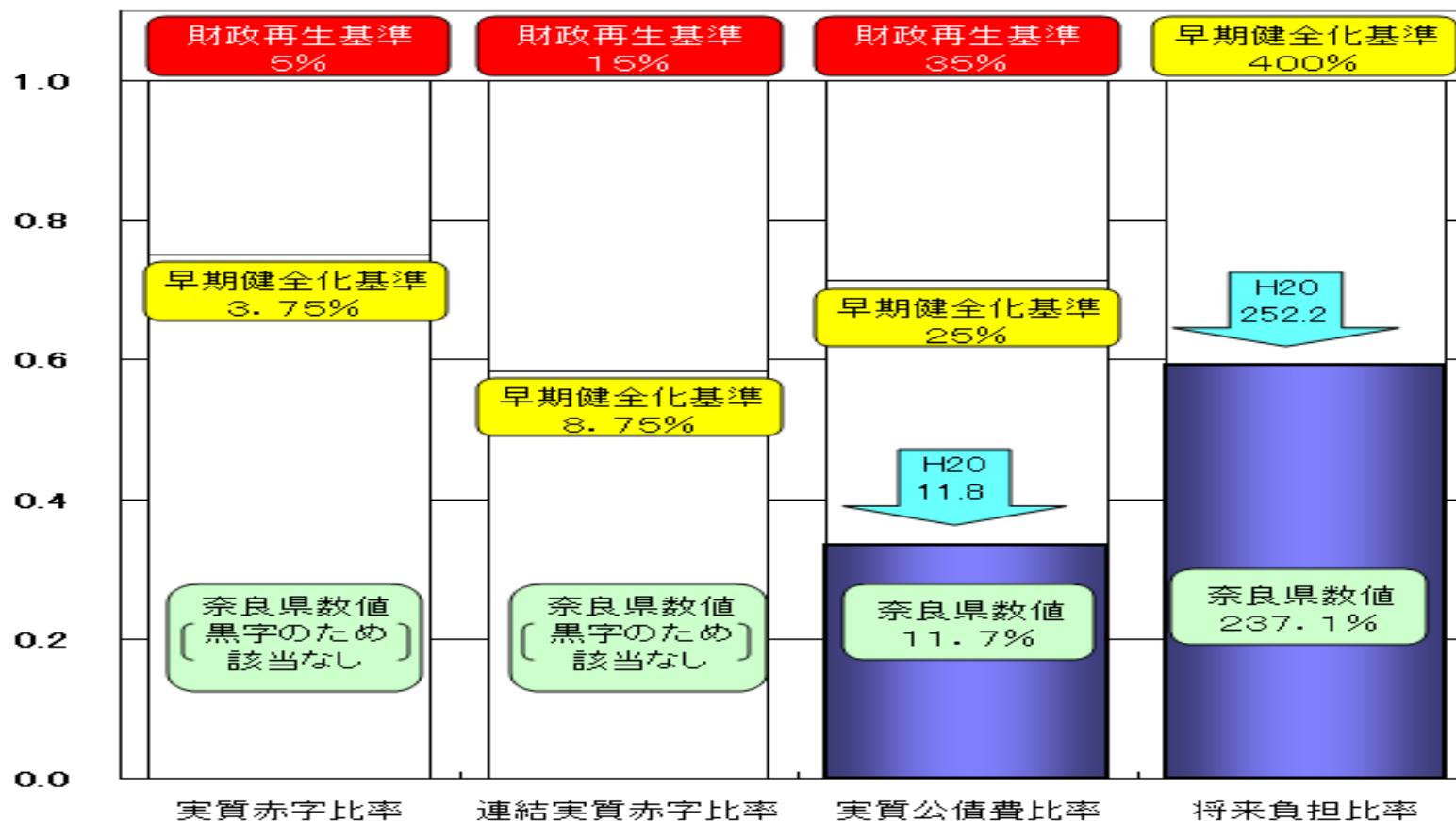
・H22についても、引き続き財政健全化に向けた取組を徹底し収支不足額を圧縮。

→2年連続財調・県債基金の取り崩しゼロを実現

→持続可能な財政運営を維持しつつ県政諸課題に積極果敢に対応。

## ⑧財政健全化判断指標の状況

- 財政状況を示す健全化判断比率の各指標は、いずれも健全な数値  
(実質公債費比率、将来負担比率とも昨年度より低下)
- 引き続き、徹底した行財政改革により、健全財政を維持



## ⑨公営企業の状況

- 水道事業については、良好な経営状況  
 →病院事業は、専門家による経営診断、改善方策等を実施し、  
 医師・看護師不足等があるなか、赤字幅は小幅にとどまる。  
 一方、一般会計補助金も増額し、単年度黒字を達成

(単位：百万円)

事業名	BS		PL			H21年度末 借入金残高	資金不足 比率 (%)	
	H20年度	H21年度		H20年度	H21年度			
水道用水供給事業 (法適用事業)	資産合計	210,096	206,541	総収益	11,913	11,698	68,815	-
	負債合計	9,132	8,939	総費用	10,768	9,816		
	資本合計	200,964	197,602	純利益・損失	1,145	1,882		
病院事業 (法適用事業)	資産合計	17,856	18,590	総収益	19,923	19,308	7,358	6.7
	負債合計	5,675	5,188	総費用	20,603	19,267		
	資本合計	12,181	13,402	純利益・損失	▲ 680	41		

単年度黒字を達成

## ⑩三公社、独立行政法人の状況

- 三公社については、土地開発公社をのぞき赤字発生なし  
 →医科大学については、病院事業同様、経営環境は厳しいが、引き続き経営改善を進め、単年度黒字を目指す。

(単位:億円)

		三公社			独立行政法人
		土地開発公社	住宅供給公社	道路公社	県立医科大学
B S	資産の部	89	65	1,112	218
	負債の部	35	2	744	110
	資本の部	54	63	368	108
P	経常損益	▲ 4	0	0	▲ 3
L	当期損益	▲ 4	0	0	▲ 3



## ①格付けの取得

### 格付投資情報センター (R&I)

**AA**  
**(安定的)**

#### [評価内容]

- ・「平城遷都1300年祭」は想定を上回る開催効果。終了後も、観光による経済基盤の底上げが期待できる。
- ・通常の限度以上に発行する行政改革推進債を発行せずに常時800億円以上の基金を維持するなど財政運営は堅実。
- ・PDCAサイクルの実践により、財政の健全化と必要な施策の実現の両立を目指す知事のもと、経済活性化とともに堅実な行財政運営が行われると見る。

- 第3者機関の客観的評価により、財政状況に関する情報をよりの確に提供
- 健全な財政規律の維持

## ②今年度の起債概要

	個別発行債	共同発行債
発行日	平成22年11月30日(火)	平成23年2、3月
条件決定日	平成22年11月10日(水)	未定
発行額	100億円	100億円(各月50億円)
年限	5年(満期一括)	10年(満期一括)

### 平成22年度奈良県公募債シンジケート団

構成メンバー	シェア	構成メンバー	シェア
南都銀行	20	野村證券	10
みずほコーポレート銀行	18	大和証券キャピタル・マーケット	9
奈良県農業協同組合	5	日興コーディアル証券	9
みずほ銀行	3	みずほ証券	6
奈良中央信用金庫	2	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	6
大和信用金庫	2	みずほインベスターズ証券	2
奈良信用金庫	1	SMBCフレンド証券	1
京都銀行	1	東海東京証券	1
新生銀行	1	しんぎん証券	1
銀行計	53	コスモ証券	1
		岡三証券	1
		証券計	47

→今後も定期的に発行を行い市場での流通量を確保していきます。

[ IV その他 ]



平城遷都  
1300年祭で  
平城京と出会う

(お問い合わせ先)

**奈良県総務部財政課**

TEL 0742-27-8362

FAX 0742-23-6895

MAIL [zaisei@pref.nara.lg.jp](mailto:zaisei@pref.nara.lg.jp)

WEB <http://www.pref.nara.jp/>

〒630-8501 奈良市登大路町30

大極殿院(平城宮跡)

